【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】令和4年7月12日(2022.7.12)

【公開番号】特開2021-56134(P2021-56134A)
【公開日】令和3年4月8日(2021.4.8)
【年通号数】公開・登録公報2021-017
【出願番号】特願2019-180466(P2019-180466)
【国際特許分類】
*Ｇ０１Ｆ 23/26(2022.01)*
*Ｇ０１Ｆ 23/24(2006.01)*
*Ｆ０４Ｂ 39/02(2006.01)*
*Ｆ０４Ｂ 39/16(2006.01)*
*Ｆ０４Ｂ 39/04(2006.01)*
*Ｆ０４Ｃ 29/12(2006.01)*
*Ｆ０４Ｃ 29/02(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｆ 23/26 Ａ
Ｇ０１Ｆ 23/24 Ｎ
Ｆ０４Ｂ 39/02 Ａ
Ｆ０４Ｂ 39/16 Ｌ
Ｆ０４Ｂ 39/04 Ｇ
Ｆ０４Ｃ 29/12 Ｃ
Ｆ０４Ｃ 29/02 ３５１Ｚ
Ｆ０４Ｃ 29/02 Ｂ

【手続補正書】
【提出日】令和4年7月4日(2022.7.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
冷凍装置（10）に用いられ、内部に気体の流れが存在しかつ液を貯留する容器（32,45,53,57）であって、
上記気体が流れる位置に配置され、上記容器（32,45,53,57）内の液面を検出する液面センサ（70）を備え、
上記液面センサ（70）は、上記気体の流れ方向と平行に延びる形状にそれぞれ形成された一対の電極（72）を有する
ことを特徴とする容器。
【請求項２】
請求項１において、
上記液面センサ（70）は、上記気体が吹き込む位置に配置される
ことを特徴とする容器。
【請求項３】
請求項１または２において、
上記一対の電極（72）は、上記気体の流れ方向と平行に延びる板状にそれぞれ形成される
ことを特徴とする容器。

【請求項４】
請求項１または２において、
上記一対の電極（７２）は、共通の基板（７１）上にプリントされる
ことを特徴とする容器。
【請求項５】
請求項１～４のいずれか１項において、
上記液面センサ（７０）は、上記一対の電極（７２）の間の静電容量または抵抗値に基づいて上記容器（３２,４５,５３,５７）内の液面を検出する
ことを特徴とする容器。
【請求項６】
請求項１～５のいずれか１項において、
上記容器（３２,４５,５３,５７）は、圧縮機構（３５）を有する圧縮機（３１）のケーシング（３２）である
ことを特徴とする容器。
【請求項７】
請求項６において、
上記液面センサ（７０）は、上記圧縮機構（３５）が吐出する上記気体が上記一対の電極（７２）の間に吹き込む位置に配置される
ことを特徴とする容器。
【請求項８】
請求項６または７において、
上記圧縮機（３１）は、上記圧縮機構（３５）の下方に設けられかつ該圧縮機構（３５）を駆動する電動機（３６）を有し、
上記液面センサ（７０）は、上記電動機（３６）に形成されたコアカット部（３８a）の下方に配置される
ことを特徴とする容器。
【請求項９】
請求項１～５のいずれか１項において、
上記容器（３２,４５,５３,５７）は、オイルセパレータ（４４）のケーシング（４５）である
ことを特徴とする容器。
【請求項１０】
請求項９において、
上記ケーシング（４５）は、筒状に形成され、かつ内周面に沿って上記気体の旋回流が生じるように構成され、
上記液面センサ（７０）は、上記ケーシング（４５）の内周面において、上記気体の旋回流が上記一対の電極（７２）の間に吹き込む位置に配置される
ことを特徴とする容器。
【請求項１１】
請求項１～５のいずれか１項において、
上記容器（３２,４５,５３,５７）は、アキュムレータ（５２）のケーシング（５３）である
ことを特徴とする容器。
【請求項１２】
請求項１１において、
上記アキュムレータ（５２）は、上記気体を上記ケーシング（５３）内に流入させる流入管（５４）を有し、
上記液面センサ（７０）は、上記流入管（５４）の出口の延長線上であって、流入した上記気体が上記一対の電極（７２）の間に吹き込む位置に配置される
ことを特徴とする容器。
【請求項１３】
請求項１～５のいずれか１項において、

上記容器（32,45,53,57）は、レシーバ（56）のケーシング（57）である
ことを特徴とする容器。
【請求項１４】
請求項１３において、
上記レシーバ（56）は、上記気体を上記ケーシング（57）内に流入させる流入管（58）を有し、
上記液面センサ（70）は、上記流入管（58）の出口の延長線上であって、流入した上記気体が上記一対の電極（72）の間に吹き込む位置に配置される
ことを特徴とする容器。
【請求項１５】
請求項１または２において、
上記液面センサ（70）は、周辺温度に基づいて上記容器（32,45,53,57）内の液面を検出する
ことを特徴とする容器。